



豊田工業大学 研究機関で雇用する特別研究員-PD 等の育成方針

豊田工業大学（以下、本学）は、2023 年度から日本学術振興会（以下、「JSPS」）が実施する特別研究員制度-PD、RPD、CPD（以下「学振 PD 等」）における「研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業」（以下、本事業）へ登録を行い、積極的に学振 PD 等を雇用いたします。

本事業の趣旨に賛同するとともに、建学の理念である「研究と創造に心を致し、常に時流に先んずべし」の志をもって学術研究の将来を担う創造的で独創性に富んだ若手研究者を育成する機関として、以下のような育成方針を掲げております。

1. **【処遇】 本学独自に若手研究者雇用支援金に上乘せし、給与を支給します(参照:表1)**

若手研究者雇用支援金に上乘せし、基本給として【月額 400,000 円*】を支給します（科研費「特別研究員奨励費(学術条件整備)」を活用）。さらに、本学での研究活動をスムーズにスタートし、より研究時間を確保し研究活動に専念できる環境を整備するため、居住に係る経費を全面サポートします。(本学敷地内の寮の無償提供、その他手当)

*学振 PD,RPD

2. **【研究費】 間接経費の一部を研究者へ還元し、研究費を優遇します**

科研費「特別研究員奨励費（特別研究員）」間接経費のうち半額相当分を、本学の財源より独自に学振 PD 等本人へ配分します。配分された研究費は、使途に制約されることなく、雇用期間内に本学での研究活動に自由に使用できます。

3. **【教育指導の機会】 教育指導能力の育成機会を提供します**

本学では、現代社会の工学的課題に 대응するため、機械システム、電子情報、物質工学の 3 分野の基礎を広く学び専門分野を深める教育を行っています。本学で開講する実践的な講義・実験実習・セミナー等関連科目の補助を通じ、高度な専門知識を活かして教育指導の経験を積むことが可能です。また、開講科目と本人の研究分野とのマッチングにより、非常勤講師として活躍いただく機会を提供します。（本人の希望による）

その他、**多彩な人材の参画を支援します**

本学では、多彩な人材を確保し、大学力・組織力を高めるため、全ての研究分野において外国人や女性の参画する均等な機会を確保します。また、女性活躍推進法に基づく行動計画を策定し、専任教員、各種研究員の女性比率向上の目標を掲げており、育児休業の取得などの環境を整えています。

※女性の活躍推進企業データベース（厚生労働省）

<https://positive-ryouritsu.mhlw.go.jp/positivedb/detail?id=33693>

表1. 処遇

職名	ポストドクトラル研究員(日本学術振興会特別研究員 PD)	
勤務形態	常勤(任期あり)	
任期*	3年	
給与*	給与:月額 40万円 食事手当:月額 4,000円	
福利厚生	社会保険	日本私立学校振興・共済事業団(健康保険・厚生年金)、雇用保険、労災保険
	住宅手当	寮(大学内)の提供 ※寮費(32,000円(シングル)・40,000円(ファミリー)/月)を無償提供
	赴任手当	規定により支給(赴任旅費、家財運搬費、赴任料を支給)
その他	非常勤講師発令有(研究分野等条件を満たした場合)※別途、講師料支給	

*CPDの場合、任期5年(PD採用期間を含む)。給与については、研究奨励額(446,000円/月)を支給。

以上